

人権を大切にする子どもたちを育てる

～ 人権・同和保育の取組み ～

今回は公立(三国・御原・大崎)保育所の人権の取組みの中から、11月のテーマ「仕事」について紹介します。

大切な仕事 ～どの仕事も私たちの生活を支えてくれる大切な仕事～

三国保育所の取組み

勤労感謝の意味を知り色々な仕事の大切さについて考えることや、感謝の気持ちを持ち子どもにも出来る仕事を考えるという目的で、取組みを行いました。紙芝居「はたらいているみなさん ありがとう」を読んだ後、どんな仕事があるか尋ねると、おうちの人の仕事を発表していました。また、家の中の仕事について尋ねると「洗濯してくれる」「ごはんづくり」「そうじ」などが子どもたちから返ってきました。

おうちの人はみんなのことをお世話してくれているから、自分でできることは自分でしようと話しました。

保護者の声

たくさんお手伝いをしてくれました。そうじをしていると「何かお手伝いをしたい!」とお風呂そうじを手伝ってもらいました。ていねいに洗ってくれました。夕飯づくりでも「何か手伝いがない?」と野菜切りを手伝ってもらいました。



保育所でも お仕事
頑張っています!



御原保育所の取組み

今回の取組みは、給食の材料を配達してくださる「野瀬鮮魚」さんに来ていただき、子どもたちから魚屋さんの仕事について尋ねました。「魚はどこから持ってくるのですか?釣ってくるの?」「お仕事で難しいところはなんですか?」「朝は何時に起きますか?」などの質問に「大きな魚をさばいたりするのが難しいです」「朝4時に起きて魚を買いに行ってお店に並べる準備をします」と答えていただきました。その後、実際に1mくらいある魚をさばいていただきました。子どもたちはとても真剣に見入っていました。

自分たちが食べているものが、どれだけの人たちのおかげで食べられているのか、少しでも感じる事ができたと思います。

保護者の声

「多くの人の手がかかり食べることができるので、感謝しないとイケないね」と話しました。

私たち大人が仕事に対して正しい認識を持って子どもたちと接していくことが大切だと考えます。

大崎保育所の取組み

11月は3回の取組みを行いました。1回目は家庭内の仕事について考え2回目・3回目は、職場見学の報告や身のまわりの仕事について考えるという内容で、共栄資源の方に来ていただいております。お話を伺いました。「**仕事をしていて嬉しかったことは…**ごみ収集をしていて、子どもたちからありがとうと言われること」「**この仕事に就いた理由は…**大学でゴミの勉強をしました。ゴミは人がつくるものなのに、収集の仕事は汚いとしたがらない人が多い。だからごみ収集は楽しい仕事だと分かってほしいと思ったからです」

保護者の声

どんな仕事も私たちが生活していくのに大切です。(中略) どんな仕事でもプライドを持って頑張っている人の姿を見て、子どもたちも「いつか自分もこうやって頑張りたい」と思ってくれるかも知れません。



家庭内の仕事の発表や職場見学報告をしました。



共栄資源から来ていただいて、お話を聞きました。

子どもたちに仕事の大切さを伝えるときに、仕事をされている方の思いに学ぶことや、自分たちがきめつけた見方をしていないか問い直すことの必要性を感じました。

これからも職員全体での学習を重ね、人権感覚を高め保育内容の充実に取組んでいきます。